

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-4274

(43)公開日 平成5年(1993)1月22日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
G 0 6 F 15/40	5 3 0 L	7060-5L		
G 1 1 B 7/00		R 9195-5D		
27/00		E 8224-5D		
H 0 4 N 5/76		B 7916-5C		

審査請求 未請求 請求項の数 4(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平3-80636

(22)出願日 平成3年(1991)7月1日

(71)出願人 000238142

布施 宏英

東京都葛飾区白鳥1-12-10、401 有限
会社ステーション・エイ内

(72)考案者 布施 宏英

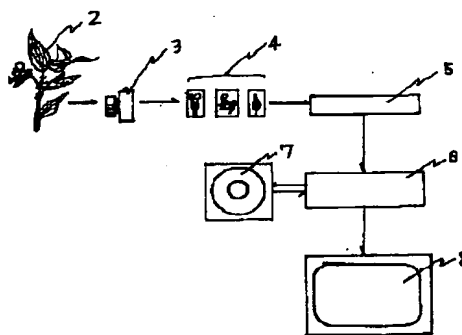
東京都葛飾区白鳥1-12-10、401 有限
会社 ステーション・エイ内

(54)【考案の名称】 図鑑検索用映像コード

(57)【要約】

【目的】CD-ROM内の検索用映像コードと入力検索用映像との照合によって、名称、種、属、科目等を知らない動植物でも瞬時に検索でき、植物、動物等に関する知識習得を容易にする。

【構成】CD-ROM等の電子記録体に納められた多くの映像情報を検索するため、各映像情報の特徴を示す全体又は1部分の正面、裏面、側面、底面、上面等の写真を付加し検索用映像コード4とする。一方、調べる対象物の全体又は1部分の正面、裏面、側面、底面、上面等を検索用コードとして写真に撮り、その各写真を映像読み取り装置5によって読み込ませ、CD-ROM7に付加した検索用映像コードと一致させて解説項目を呼び出す。たとえば電子カメラあるいはボラロイドで撮影した植物の花、枝葉、根茎などの正面、裏面、側面、底面、上面等の写真を検索映像コードとしイメージスキャナによって読み込ませておく。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】CD-ROM等の電子記録体に納められた映像情報を検索するため、各映像情報に付加する各映像情報の特徴を示す全体あるいは1部分の正面、裏面、側面、底面、上面等の各映像を組合わせてなる検索用映像コードの構造。

【請求項2】映像情報が備えるユニークな形状を検索用映像コードを形成する際の最優先要素とする請求項1の検索用映像コードの構造。

【請求項3】映像情報にある色彩も検索用映像コード要素とする請求項1の検索用映像コードの構造。

【請求項4】映像情報のサイズを示すスケールの目盛りをつけた請求項1の検索用映像コードの構造。

【図面の簡単な説明】

*

2

*【図1】コード要素の一つ花の正面映像

【図2】コード要素の一つ花の側面映像

【図3】コード要素の一つ葉の正面映像

【図4】検索システムの概念図

【符号の説明】

1、スケールの目盛り

2、調べる対象

3、カメラ

4、写真による入力検索用映像コード

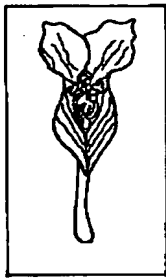
5、映像読み込み装置

6、映像照合検索機能付中央制御装置

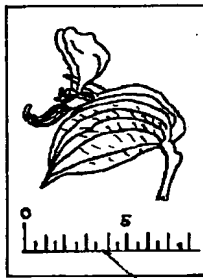
7、CD-ROM

8、ディスプレイ画面

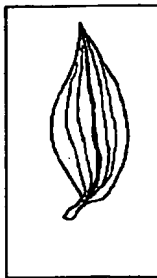
【図1】



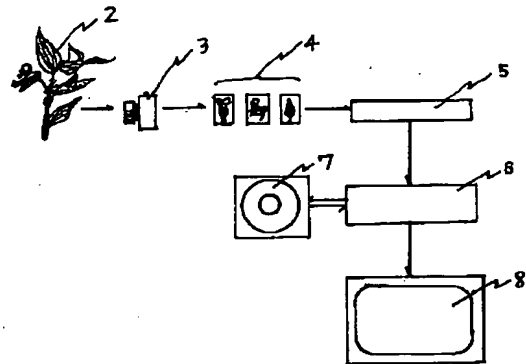
【図2】



【図3】



【図4】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、CD-ROMに収納された図鑑等の映像情報を、調べる対象物の全体あるいは1部分の正面、裏面、側面、底面、上面等の各映像によって照合し、スピーディに検索するための検索用映像コードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来 図鑑、百科辞典等は、印刷された本などの形式のものが主流で、CD-ROMなど電子出版タイプのは極めて少なく、また、その検索方式は、名称、種、属、科目などを文字表現したもので行われてきている。したがって、名称、種、属、科目などを知らない動植物は照合検索が難しかった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

CD-ROMは、色彩映像、音声をデジタル信号によって記録した読み込み専用のコンパクトディスクであるが、その記憶容量の大きさや、ランダムアクセスによる検索スピードの早さ、動きのある映像が視聴できること、保存スペースが極めて少なく済むこと、などから、CD図鑑、CD百科辞典としてその利便性が期待されている。しかし、こうしたCD図鑑、CD百科辞典の検索は、キーボードによる文字入力検索方式なので、例えば、採取した植物について名称、種、属、科目等を知っていないと、その植物の検索が難しいという欠点がある。本考案の課題はこの欠点を解決することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】

CD-ROMなどの電子記録体に納められた多くの映像情報を一つ一つ検索するため、各映像情報の特徴を示す全体あるいは1部分の正面、裏面、側面、底面、上面等の各映像を検索用映像コードとして付加しておく。一方、調べる対象物の全体 正面、裏面、側面、底面、上面等を照合用コードとして写真に撮り、その各写真を映像読み取り装置によって読み込ませ、CD-ROM内の検索用映像コ

ードと一致させて解説項目を呼び出す。この入力検索用映像コードは、CD-ROM内の検索用映像コードと映像の細部までは一致しないので、相似パターン認識、色彩認識で識別する。検索用映像コードの要素の組合せ順位は、形状のユニークな要素を最優先するが、基本的には、植物の場合は枝葉、成熟葉、花、実と、ように成長の時間に沿ったものにする。したがって入力する検索用映像コードの入力は、そうした約束ごとをわきまえた上で行う。名称等を知らない植物を電子カメラあるいはポラロイドで撮影する場合は、もっとも特徴のある形態を優先した上で、植物の枝葉、成熟した葉、実、根茎などの正面、裏面、側面、底面、上面等の写真を入力する検索用映像コードとする。これらをイメージスキャナで読み込ませ、CD-ROMに納められた植物の各映像情報につけた検索用映像コードと照合させることで、調べる対象の解説ページを呼び出す。

【0005】

【実施例】

本考案を、図によって説明すれば第1図は、つゆ草の花を例にしたCD-ROM内の検索用映像コードの組合わせ要素の一つである花の正面映像。1はスケールの目盛りを示す。第2図は花の側面映像を示す。第3図は葉の正面映像（表面）である。検索用映像コードは、動植物それぞれの特徴を際だたせて示す映像要素を組合わせたものにする。したがって、形状の似ている動植物の場合は、相違点の際だつ部分をクローズアップして識別能を高める。これに対し際だつ特徴のある動植物の場合は、組合わせを少なくする。

第4図は検索システムの概念図である。2は調べる対象、3はカメラ、4は調査対象の検索用映像コード、5は映像読み込み装置、6は映像照合検索能付中央制御装置、7はCD-ROM。8はディスプレイ画面である。

【0006】

【考案の効果】

本考案の効果は、名称、種、属、科目等を知らない動植物でも、検索用映像コードによって、瞬時に検索でき、植物、動物等に関する知識習得を容易にする点である。機器のコンパクト化が進みハンディになれば、自然の中で植物を手折ることなく専用撮影カメラあるいは電子カメラ、ポラロイドカメラ等で、検索用映像

コードと同じアングルで対象を撮り、入力することでその場で瞬時に、その植物に関する詳しい情報をC R T（ディスプレイ画面）上に呼び出すことができる。
したがってフィールドワーク適するものになる。

【0007】